



瓜生原 葉子（うりゅうはら ようこ）

Yoko Uryuhara

同志社大学 商学部准教授，ソーシャルマーケティング研究センター長。
MBA，博士（経営学）。

京都大学大学院医学研究科・京都府立医科大学非常勤講師，日本学術会議連携会員，公益社団法人日本臓器移植ネットワーク理事，EURAM（欧州経営学会）理事&日本代表などを兼務。
専門領域は，ソーシャルマーケティング，行動変容マネジメント，組織行動論。

薬学部卒業後，外資系製薬企業で臨床開発，マーケティングなどに20年間従事した後，医療コンサルティング会社代表を務める。2011年神戸大学大学院経営学研究科にて博士号（経営学）取得後，大阪大学大学院医学系研究科博士課程を経て，2013年4月より京都大学大学院医学研究科助教。2014年4月より現職。

2021年4月，ソーシャルマーケティング研究のアジア・日本拠点として，「同志社大学ソーシャルマーケティング研究センター」を創設。Social good な行動を増やすアプローチ方法を学際的・重層的・創造的に研究し，その知見を社会に実装することで，学術研究の進展と社会課題の解決・SDGsの達成に寄与することを志している。

主な著書に『行動科学でより良い社会をつくる』（文眞堂，2021），*Broadening Cultural Horizons in Social Marketing*（Springer，2020，分担執筆），『経営組織入門』（文眞堂，2020，分担執筆），『医療の組織イノベーション』（中央経済社，2012）などがある。

受賞歴は，第16回吉田秀雄賞など。報道番組のゲストコメンテーター，メディア取材，招待講演多数。

<https://www.uryuhara.com/>